

「札幌市学校施設維持更新基本計画（案）」に 対するご意見の概要と札幌市の考え方について

札幌市教育委員会

平成 28 年（2016 年） 3 月

目次

1	意見募集の概要	1
2	パブリックコメントの内訳	2
3	パブリックコメントに寄せられたご意見と札幌市の考え方	3-4

1 意見募集の概要

(1) 意見募集の趣旨

札幌市には 300 校を超える学校施設があります。これらの多くは、1970 年頃から 1980 年代にかけての児童生徒急増期に建設されたもので、現在では築 30 年以上の学校施設が全体の約 7 割を占め、老朽化が進んでおり、こうした施設の維持更新のために、多額の事業費が必要な状況となっています。

この度、札幌市教育委員会では、札幌市の学校施設を健全に保ち、児童生徒が安心して充実した学校生活を送ることができる環境を形成することを目的とした「札幌市学校施設維持更新基本計画（案）」を取りまとめ、市民の皆さまのご意見を取り入れた計画とするため、意見募集を行いました。

(2) 意見募集期間

平成 28 年（2016 年）2 月 23 日（火）から 3 月 23 日（水）まで

(3) 意見の提出方法

- ア 郵送
- イ ファックス
- ウ 電子メール
- エ 持参

(4) 資料の配布場所

- ア 札幌市教育委員会（STV 北 2 条ビル 5 階生涯学習部学校施設課）
- イ 札幌市役所本庁舎（2 階市政刊行物コーナー）
- ウ 各区役所（市民部総務企画課公聴係）
- エ 各まちづくりセンター
- オ 札幌市役所ホームページ

(5) 意見募集の周知方法

- ア ホームページ
- イ 広報さっぽろ
- ウ 報道機関への資料配布

2 パブリックコメントの内訳

(1) 意見提出数、件数

意見提出者数：4人、意見数：9件

(2) 意見提出者の提出方法の内訳

区分	郵送	持参	ファックス	電子メール	合計
提出者数	0人	0人	1人	3人	4人
意見数	0件	0件	2件	7件	9件

(3) 意見内容の内訳（計画案の構成に沿って分類）

分類	件数（件）	比率（%）
全体に対する意見	0	0
第1章 計画の背景等	0	0
第2章 学校施設整備の現状と課題	6	66.7
第3章 維持更新手法の検討・分析	0	0
第4章 今後の学校施設の維持更新	0	0
第5章 維持更新手法の内容	0	0
第6章 附帯施設等の老朽化	3	33.3
第7章 推進方策	0	0
別添資料	0	0
合計	9	100.0

3 パブリックコメントに寄せられたご意見と札幌市の考え方

ご意見の概要と札幌市の考え方は以下のとおりです。

これらの意見については、今後の学校施設整備の際の参考といたします。

なお、お寄せいただいたご意見は、趣旨が変わらない程度に要約しており、趣旨が同じご意見はまとめて掲載しています。

意見の概要	札幌市の考え方
「第2章 学校施設整備の現状と課題」	
<p>より良い教育環境とは、1学級あたりの子どもの数が少なく、先生が一人ひとりに目が届く環境で、世界標準の教育は1クラス25人くらいではないか。世界的に知名度のある札幌の教育環境は世界標準を目指してほしい。</p> <p>統廃合していくと遠距離の子どもができるだけではなく、過度な競争となることも考えられるので、極力学校数は現状維持を目指してほしい。</p>	<p>一定の学校規模を確保することは子どもたちの社会性や協調性を養ううえで重要であることから、この計画とは別に、基本方針を定めて学校規模適正化の取組を進めております。</p>
<p>古いものを大事に使うことも学んでほしい。そういう意味では、校舎は箱ではなく教材でもあると思う。</p>	<p>古いものを大事に使うことを学ぶというのは、大切な視点であります。</p> <p>この計画では、老朽化対策による危険性の除去などにより、児童生徒が安心して充実した学校生活を送ることができる環境をつくることを目的としております。</p>
<p>学校には、障がい児や障害のある保護者が来ることも想定して整備の課題と方向性を示すことが必要である。</p> <p>避難所及び投票所としての機能、学校開放による市民利用にはバリアフリー等への対応が求められる。</p> <p>こうした対応は、市民や子どもたちに啓発するためにも必要である。</p> <p>「今後の学校施設整備の方向性」には、「ユニバーサルデザイン及びバリアフリー化を踏まえた改修」を入れるべきである。(同意見：2件)</p>	<p>バリアフリー等への対応は重要な視点であり、現在も、改築等の際にバリアフリー化を進めているほか、既存施設においても、児童生徒の障がいの状況に応じて、個別に改修を行っております。</p> <p>今後も、ご意見の趣旨を踏まえ、学校施設の整備を進めてまいります。</p>

意見の概要	札幌市の考え方
<p>学校は、非常時には避難場所、地域活動のベースとなり、地域にとって重要な建物である。</p> <p>非常時には、弱者も含め多くの人を利用することになり、障がい者やお年寄りを受け入れるため、最低限の装備（おむつ、人工呼吸器の電源、酸素など）が必要だと思う。</p> <p>障がい者差別にならないようにするだけでなく、そういう人にしっかり対応できる設備にすることが求められている時代であり、共生社会につながる。</p> <p>こうした環境をつくることが未来をつくる子どもたちにとっても重要だと思う。</p>	<p>同上</p>
<p>「第6章 付帯施設等の老朽化対策」</p>	
<p>トイレのバリアフリー化を踏まえた改修として、車いす利用者に配慮した洋式、広さ、手すりのほか、オストメイト対応や簡易ベッドなども盛り込む必要がある。</p> <p>(同意見：2件)</p>	<p>バリアフリー化は重要な視点であり、トイレについても、改築や改修により対応しております。今後も、ご意見の趣旨を踏まえて整備を進めてまいります。</p>